

## ワンセグ地上デジタル放送を受信しにくい場所

- ビルとビルの間を走行または停車している
- トンネルや鉄橋を走行している場合
- 上空を飛行機が通過または電車が近くを通過しているときなど
- 自動車、バイク、高圧線、ネオンサインなどの近く
- 送電線の付近を走行している場合
- ラジオ放送、アマチュア無線局の放送アンテナの近く
- 山かげや木立ちの影など樹木の密集した場所

## フィルムアンテナを貼り付ける前に

- **貼り付け・配線をするためには、フロントウィンドウ周りの内装を一時的に取り外す必要がありますので、ご了承ください。**
- **車種によって、取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。**
  - 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波を透過しないガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
  - ピラーにフロントエアバックを搭載している車には、取り付けることができません。
- **必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。**
  - 車検適合させるために、下記の「**貼付許容範囲について**」および下記の「**フィルムアンテナの取り付けかた**」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断され不合格になります。
  - 本商品はフロントウィンドウ専用です。それ以外の場所（リヤウィンドウなど）に貼り付けると、受信感度が低下します。
- アンテナのフィルムをはがしたあと、アンテナ貼付面には手をふれないでください。指紋やゴミが付着し粘着力が弱くなります。

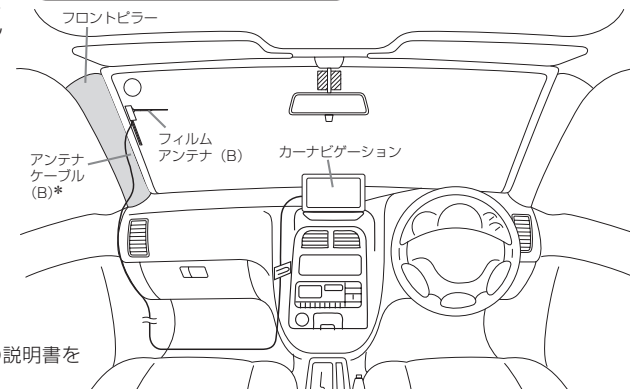
必ずケーブルおよびフィルムアンテナを仮止めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しできません。

## フィルムアンテナを貼り付ける前に

### ■取り扱い上の注意点

- アンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線などにより電波の受信が悪くなる場合があります。
- はくり紙やフィルムをはがしたあとは、貼り付け面に手をふれないでください。フィルムアンテナの透明シート、クランパーのはくり紙をはがしたあとは手をふれないでください。また、長時間の放置はしないでください。
- アンテナのフィルムや給電端子のはくり紙をはがしたあとは、給電部などに手をふれないでください。静電気による故障や汗や汚れなどで接触不良の原因となります。
- 貼り付けたあと、ガラスを拭くなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカーをはがし剤を使用しないでください。破損の原因となります。

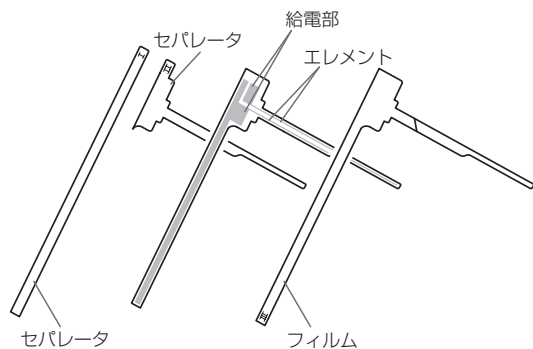
### 取り付け完成概略図 〈車内から見た図〉



\* 印…別売のCA-PDTNF26Dに付属の説明書をご覧ください。

## フィルムアンテナについて

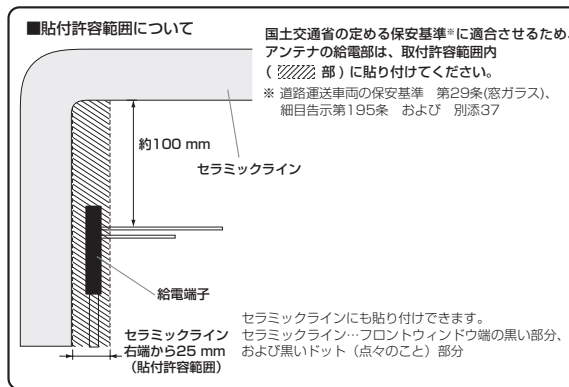
### フィルムアンテナの構成




フィルムとセパレータの間にエレメントが挟まれています。エレメントの広い部分が給電部です。

### 貼付位置について

- 車検適合させるため、また、性能を十分に発揮させるために、必ず下記の位置に貼り付けてください。
- フロントウィンドウ上側のセラミックライン下端より約100 mm 離れた位置に貼り付けてください。
- 他のアンテナを取り付けている場合、妨害を防ぐため、他のアンテナからフィルムアンテナを30 mm以上（下図〈車内から見た図〉参照）離して貼り付けてください。
- フィルムアンテナは、点検整備済ステッカー・検査標章などと重ならないように貼り付けてください。
- フィルムアンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けしないでください。
- フロントウィンドウに、すでに他のフィルムタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。（指定の位置・寸法内に取り付けられない場合があります。）



国土交通省の定める保安基準<sup>※</sup>に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内（部）に貼り付けてください。  
※ 道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)、細目告示第195条 および 別添37

セラミックラインにも貼り付けできます。セラミックライン…フロントウィンドウ端の黒い部分、および黒いドット（点々のこと）部分

